さがみはら産業創造センター 編集・発行

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 ― 地域版 ―

発行 No. 64

発行日：令和元年 11月15日(金)
(2019年)

地域企業紹介 その 64

株式会社オーエイ

「一貫生産体制と地域密着」で社会に貢献

金属製品の製作・組立・梱包及び焼付塗装などを手掛ける株式会社オーエイの久保誠代表取締役社長を相模原市中央区田名の第1工場に訪ねました。

同社は1976年、久保誠社長の実父である久保忠男氏によって法人設立され、現在44期目を迎えている。住宅設備メーカーの協力工場としてレンジフードなどの製作を行う「桜栄産業有限会社」として設立された。忠男氏が鹿児島県出身であったことから「桜島」に因んでつけたのが社名の由来だ。

設立後、精密板金加工を主軸とした事業を展開し、1986年には焼付塗装も開始するなど業容を拡大。1991年には株式会社オーエイに社名・組織変更した。現在では、金属製品の「設計・板金加工・溶接・塗装印刷・組立・梱包」までの一貫生産体制を構築、産業機械・車両・検査測定機器・ロボット関連など幅広く手掛けている。「誠実」と「創造」を基本理念とし、地域密着型の経営方針のもと、お客様に「信頼される技術」「安心される品質」「満足されるサービス」の提供により、相模原を中心に100社以上の取引先を有している。

そんな株式会社オーエイを率いる久保誠社長は、3人兄姉の末っ子で相模原生まれの相模原育ち。清新小学校・清新中学校を経て厚木高等学校へ進学。小学校から高校まで吹奏楽部に所属し、楽器は“ホルン”を担当したそうだ。小学生の時、同時入部の仲間と一斉に楽器を選ぶ際、出遅れたため“ホルン”しか残っておらず、仕方なくホルン担当になったのだとか。高校時代は全日本吹奏楽コンクール（高校野球で言えば甲子園出場に匹敵する全国大会）に出場するほどのハイレベル。大学は明治大学経営学部に進学、一転して麻雀やゲームに明け暮れる日々を過ごす。大学卒業後は富士通株式会社に入社、SE（システム・エンジニア）として7年間勤務した後、1991年30歳の時に株式会社オーエイに入社した。こうしたSEの経験を活かし社内の生産管理システムなどは自社でプログラムし管理している。また、社長が外出中でもスマホ画面から会社の様子がリアルタイムで把握でき、社員からの質問・相談はもちろん緊急性ある判断にもスピーディーに対応できる仕組みも構築している。そんな久保誠社長が忠男氏から事業承継したのは2001年。二代目社長として、さらなる企業体質強化に向けて「ISO9001、ISO14001」の取得をはじめ、2003年に第2工場、2010年に第3工場を新設。現在、第1工場では精密板金加工と営業部門、第2工場では焼付塗装（紛体・溶剤）・シルク印刷、第3工場では

代表取締役　久保　誠（くぼ　まこと）
所在地：神奈川県相模原市中央区田名 3039-16
従業員数：47 名
資本金：１千万円
事業内容：■筐体、及び部品の製作（板金加工、金属塗装）・組立・梱包
■金属製品の焼付塗装（粉体・溶剤）、シルク印刷
■その他板金■試作■三次元 CAD 設計　等
URL: http://oei.co.jp

（表面からつづく）

溶接組立を行っている。同時にAMADA製ファイバーレーザー複合マシンや向洋技研製テーブルスポット溶接機をはじめとする機能性優れた設備導入を行うなど基本理念の実現と一貫生産体制のさらなる増強に積極的に取り組んできた。「鉄の板に命を吹き込む」をスローガンに短納期・低コスト対応の実現と試作から量産・多品種小ロットなど様々な顧客要望にも素早く対応できる“一環生産体制”は株式会社オーエイの大きな強みだ。

現在「さがみはらロボットビジネス協議会」に参画し、相模原市が重点産業施策とする産業用ロボット関連事業の一翼を担うなど地域経済の発展にも貢献している。一方、社員を対象にした国家技能資格者の養成をはじめ、人材育成にも熱心な久保誠社長。「自立＆自律」した社員を育てる目的で、2004年から産学連携で“カイゼン”活動に取り組んできた。青山学院大学の松本教授が指導するIE（インダストリアル・エンジニアリング）という手法を用いたもの。人が行う作業方法や作業時間・細かい動作などの様々な作業をいかに分析するかという手法。“人がIEを通して「働く力・考える力」を身に付けることで、夢を実現し、幸せになる”というものだ。このカイゼン活動の励行により、社員が自ら考え、数多くのカイゼン提案が出されるなど、「自立＆自律」した社員の育成に繋がっていると久保誠社長は言う。

そんな久保誠社長のプライベートは多彩で、経営者として育ててくれた青工研（相模原市青年工業経営研究会）のメンバーを中心とした、気の合う素晴らしい仲間と共にウォーキング部・麻雀部・囲碁部・アニソンカラオケ部などを結成して活動している。そのほか、愛車は６速ミッションのラリー車で、その上本格的なカートレースを平塚や御殿場のレース場で月1回程度行うなど大の車好きでもある。最近では健康増進のためにゴルフを復活したそうだが、朝練のやり過ぎでひどい「ひじ痛」を起こしてしまったとのこと。

地域貢献のため清水原工業団地協同組合の理事長や業界発展のために板金工業会なの役員などを長年務める久保誠社長は、今後50周年に向けて、「ここ相模原にはファブレスやベンチャーも多い。そうした事業者の製造部門を担当する会社として完成品が造れるなど、一括して引き受けられる会社があれば喜ばれると思う。引き続き、QCDのみならず、今まで以上にお客さまにとって身近で使い勝手の良い“便利な会社＝コンビニエンス企業”を目指していきたい」と想いを語る。3つの工場に充実した設備、ITを駆使した経営管理、高い技能を持つ優秀な社員。そこに幅広い人的ネットワークを持つ久保誠社長がいる。近々に組立工場（第４工場）を稼働させる株式会社オーエイ。一貫生産体制のさらなる進化と地域密着型のきめ細かいサービスで、これからも地域社会の発展と業界の発展に大きく貢献していくことだろう。

お客様の設備を守り、ものづくりの発展を支えていく！

芙蓉実業株式会社

産業用ロボット（主にファナック製）を用いた設備を得意とし、生産ラインの自動化について、ご提案からアフターサービスまでを行っている。

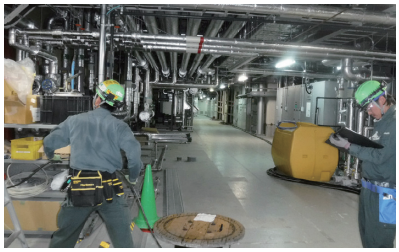
ファナック製ロボットを用いた機械システムの導入提案・設計・組立　(システムインテグレーター)、工場や施設などの電気設備工事における設計・施工・管理を行う芙蓉実業株式会社 森 正樹取締役（相模原事業所長 兼 技術部長）にお話を伺いました。

芙蓉実業株式会社は昭和41年設立、創業者は現会長である山下佐紀氏で本社は山梨県富士吉田市に所在します。大型施設の電気・空調設備の設計・施工から始まり、新エネルギーやＦＡ・ロボットシステム、電子部品・制御部品の販売、現在ではIoTなど、時代の流れとともに事業を拡大しています。

創業当初から「地元密着型で、お客様の設備をお守りする」ことを大切にし、大企業であるファナック（本社：山梨県忍野村）とは長い信頼関係もあり、平成15年頃からはＦＡ関連事業を開始しました。現在ではファナックロボット会の会員となり、北関東から甲信越まで広い事業エリアをカバーしています。

相模原事業所ではＦＡ・ロボットシステムの設計、開発を行なっています。芙蓉実業は電気、空調・衛生設備の設計・施工が主要事業ですが、ＦＡ・ロボットシステム事業も取引が着実に増えて来ています。また昨今の人手不足解消に向け最新のロボットシステムの提案や自動化に縁のなかった企業様、業界に対してもシステム設計から製造、運用サポートまでを一貫して提供する力を強化し拡大するため、ここ相模原に来年度FAの自社工場を建設し稼働に向けて計画を進めています。

本社がある富士吉田市でも近年、学童数が減少するなど、芙蓉実業としても人材確保が課題となっています。そのためにも新たな拠点を基盤にし、特に人材育成に注力することで芙蓉実業がさらに成長し、お客様の設備を守るという役割をしっかりと果たすことで、広く産業界に貢献していきます。



メーカー工場内電気工事の様子

芙蓉実業株式会社
ＳＩＣ-1　105 号室
URL: https://fuyouj.jp/

かながわ経済新聞代表・編集長、相模原商工会議所編集委員　千葉 龍太

「売るため」「獲るため」には広報を

中小企業に必要な「広報」

今回から中小企業にとっての「広報」をテーマに連載（3回）してまいります。これまで企業取材を専門にしてきた経験から、記者として感じた中小企業にとっての広報の必要性についてお伝えします。

さて、取材で回っていても「売れない」「人が集まらない」といった声をよく聞きます。しかし、技術や製品が悪いから売れないのではなく、また、会社に魅力がないから採用できないのではないと思います。単に「売るための努力」や「知ってもらうための努力」をしていないだけだと思います。例えば、ホームページ（ＨＰ）やチラシを挙げてみます。ＨＰの更新が何年間もストップしていたり、新製品のチラシも購買意欲を刺激しなかったりする企業が少なくありません。もし自分が採用に応募する立場で自社ＨＰを見たら「この会社に入りたい」と思うでしょうか？

確かに、以前はモノを作れば自然と売れる時代だったと思います。人材もたくさんいました。しかし今は違います。あの「失われた２０年」で、大手企業は安く売る努力に奔走しました。そして、現在はモノがあり余る時代となりました。こうした中で「良いモノを出せば売れる」「待っていれば人が集まる」という考えは、もはや通用しない時代であると思います。ある大手レストランチェーンの社長は「おいしい料理が売れるのではなく、売れた料理がおいしいのだ」と言ったそうです。このことは中小・小規模企業にも当てはまります。「売れるため」あるいは「獲るため」にどんな努力をするかが重要だと思います。「広報」もその一つです。

「広報」と「宣伝」は別物

では、そもそも「広報」とは何でしょうか？　まず強調したいのは「広報」と「宣伝」はまったく別物だということです。実際、大手企業では「広報部」と「宣伝部」は別部門になっています。それぞれで役割が違うからです。宣伝とは、予算に基づいて、テレビ・ラジオＣＭや新聞広告、チラシといった広告物を制作し、自社が意図的に伝えたい情報を普及させることだといえます。それに対し、広報とは「自社や製品のことを世に問うこと」であると考えます。広報と宣伝―。「売るための努力」を実践するには、どちらも大切だと思いますが、広報の場合、あすからでも着手できるというメリットがあります。次回は具体的な広報活動についてお伝えします。

広報

自社、製品・サービスなどを
「世に問うための手段」

宣伝

予算があり、意図的な情報・
イメージを伝えるための手段

■ **千葉 龍太　かながわ経済新聞代表・編集長、相模原商工会議所編集委員**

都内テレビ局に1年、大手産業紙に8年、一般紙に5年ほど在籍した後、新聞業界のベンチャー企業「かながわ経済新聞」を２０１３年7月に設立。一般の新聞ではあまり載ることがない、県内の中小・小規模企業にスポットを当て、月1回、紙面で情報発信している。年間で累計５００社ほどの県内企業を取材している。

割烹 三代（みよ）

今回は相模原市中央区田名にある「割烹 三代」を訪問しました。創業から約45年を迎える田名の老舗割烹で、先代の時代までは鮮魚店を営んでいたこともあり、魚料理が自慢です。ランチで1番人気のばら寿司膳、女将おススメの刺身膳をいただきました。田名という地でありながら、新鮮で旬な魚をいただくことができて、これを目当てに遠方からもお客様が来るそうです。忘年会・新年会シーズンにもぴったりで数多くのコースが用意されており、最大100名での宴会が可能です。相模原市近隣であれば10名以上の予約からバスでの送迎も行っています。

窓からは水郷田名の街並みと緑の山々が覗ける、筆者地元の誇れるお店を紹介させていただきました！ごちそうさまでした。（大谷）

相模原市中央区田名5026-1　Tel. 042-761-5271
営業時間：11:00～14:00（土・日・祝日は要予約）、17:00～22:00（予約制）
定休日：火曜日（お盆・年末年始は不定期）　URL: https://www.kappomiyo.com/

ご主人と女将さん

『地元採活企業サポートセミナー（KAIMAMI 12th）』開催のご案内

サガツクナビでは、地元企業の採用活動、地元学生の就職活動を応援しています。本セミナーでは、インターンシップを活用した採用活動などについて理解を深め、就活生に伝える求人票（求人サイト）を考えます。

KAIMAMI 12th ～地元採活企業サポートセミナー～

講師：村上 晴美 氏（アクシー株式会社　代表取締役）

第1 就活の今を知る
日時 2019.11.20(Wed) 16:30～18:30
場所 サン・エールさがみはら 3階 第1会議室

第2 インターンシップを知る
日時 2019.12.17(Tue) 16:30～18:30
場所 杜のホールはしもと 7階 セミナールーム1

第3 求人票を作成する
日時 2020.1.21(Tue) 16:30～18:30
場所 サン・エールさがみはら 3階 第1会議室

JT JOB TALK 学生と企業の交流会

JM JOB MEETS 合同就職説明会

【対象】新卒・既卒・第2新卒の採用予定のある地元企業の採用担当者
【定員】12名（先着順、1社1名）
【参加費】ひとり22,000円（税込・全3回分）

【お申し込み・お問い合わせ先】
さがみはら産業創造センター　サガツクナビプロジェクト
【Tel】042-703-6321【Fax】042-703-8622
【E-mail】sagatsukunavi@sic-sagamihara.jp

詳しくは、SICホームページをご覧ください。
https://www.sic-sagamihara.jp

2019.11 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

１１月１６日（土）・２３日（土）・３０日（土）
２０１９年度相模女子大学地域連携フォーラム（SIC協力）
１１月２０日（水）、１２月１７日（火）、令和２年１月２１日（火）
地元採活企業サポートセミナー（KAIMAMI 12th）
１１月２６日（火）　The HINT46　経営者の身だしなみとイメージ戦略
１２月　３日（火）　SIC入居企業交流会（大忘年会）
１２月１６日（月）　生産プロセス改善のための“技術講座”シーケンス制御基礎
[令和２年]
２月　６日（木）　JOB TALK(学生と企業の交流会)
２月２６日（水）　JOB MEETS(合同就職説明会)

knock! knock! 入居企業を募集してます。

SIC空室情報（令和元年11月15日 現在）※お気軽にお問い合わせください。

	部　屋	空室数	賃料/月額（共益費込・消費税抜き）
SIC-1 Startup Lab.	○セミラボA（47.3㎡）	2	140,600円
SIC-2 Creation Lab.	○オフィス（50.2㎡）	2	172,700円
SIC-2 R&D Lab.	○マルチラボ（63.18㎡）	7	250,200円
SIC-3 Innovation Lab.	空室はありません	-	-

編集後記

今年も残すところ、1か月半となりました。SICでは、入居企業様との大忘年会を企画していますが、企業の皆様のご予定は如何ですか？忘年会・新年会の場所にお悩みの方は、これまでの「かわらばん」でご紹介しました「食のさんぽ道」を参考にして頂けると嬉しい限りです。来る年2020年は、子年「庚子（かのえ・ね）」。庚子は変化が生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態なので、全く新しいことにチャレンジするのに適した年なのだそうです。皆様、良い年をお迎えください。

（株）さがみはら産業創造センター（SIC）
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119　FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp
ご意見・ご感想をお待ちしています。
ウェブサイト https://www.sic-sagamihara.jp/

デザイン　DESCL 株式会社デスケル